

# 有害プランクトン情報 (令和5年度 - No. 12)

千葉県水産総合研究センター  
東京湾漁業研究所・生産技術研究室  
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾で沖合のプランクトン調査を行っている他、県内の貝類漁場でプランクトンの出現状況を調べています。プランクトンの種類や密度によって、魚類のへい死や二枚貝の毒化を起こすことがあるため、毎月、有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

- 調査日 沖合 3月 第1回 内湾 (8地点) 3/5 内房 (7地点) 3/5  
貝類漁場内 木更津北部地区 3/11 木更津北部地区 3/4 富津地区 3/22

## 東京湾(内湾)

### 【有害プランクトンの出現状況】

- 確認されませんでした。  
※ シャットネラ属は1細胞/mL, シュードシャットネラ属は100細胞/mL, ヘテロシグマ属は1,000細胞/mL, カレニア属は100細胞/mL以上で注意報を发出します。  
○ 赤潮 (透明度 1.5 m 以下, pH8.5 以上, 酸素飽和度 150%以上, クロロフィル a 50 µg/L 以上) はみられませんでした。

### 【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン  
○ 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン  
○ 沖合および貝類漁場内でディノフィシス アキュミナータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。  
・3/5 アクア北, アクア南, 盤洲南 最大密度はアクア南の0.2細胞/mL  
・3/22 富津地区 (貝類漁場) 密度は0.1細胞/mL  
○ 貝毒の被害情報はありませんでした。  
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

## 東京湾(内房)

### 【有害プランクトンの出現状況】

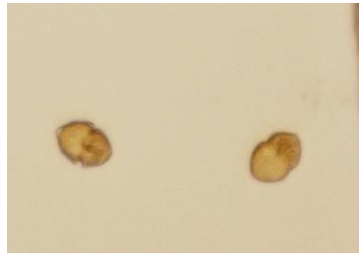
- 確認されませんでした。  
○ 赤潮はみられませんでした。

### 【貝毒原因プランクトンの出現状況】

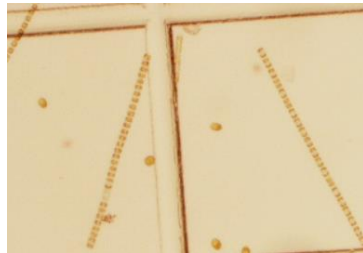
- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン  
○ 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン  
○ 確認されませんでした。  
○ 貝毒の被害情報はありませんでした。  
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたフランクtonの優占種

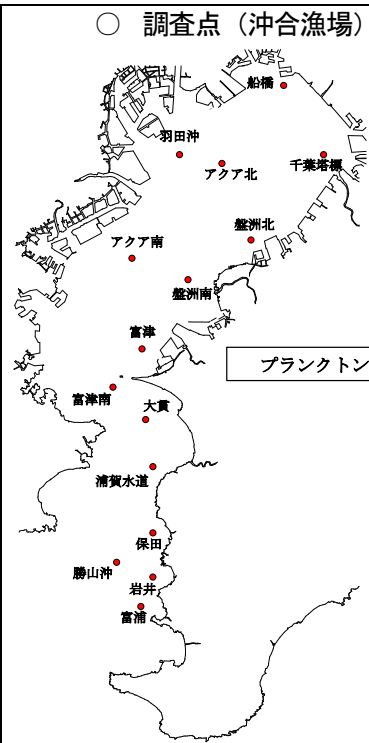
3/5 内湾・内房 渦鞭毛藻ヘテロカプサ属, プロロセントラム属, 珪藻スケレトネマ属 など



ヘテロカプサ属  
(3/5 アクア南)



スケレトネマ属  
(3/5 アクア北)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp